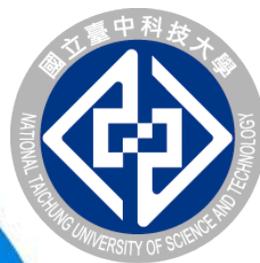


商學院國際交流與 海外移地教學 2015-2025

報告人: 李國璋
商學院院長



國立臺中科技大學

NATIONAL TAICHUNG UNIVERSITY
OF SCIENCE AND TECHNOLOGY



用感動- 趨動國際交流與合作



滋賀大学



商學院李國璋與曾輝鋒老師赴日與日本國立滋賀大學三ツ石郁夫副校長與經濟學部小倉明浩院長研議海外移地教學。經濟學部小倉明浩院長來訪並與商學院戴錦周院長簽訂「承認學分制」海外移地教學合作備忘錄。

2015-2016 | 規劃



舉辦第一屆國立台中科技大學商學院碩士班「承認學分制」海外移地教學，共24名研究生至日本國立滋賀大學修習一連串密集課程。

2017 | 第一屆 | 台灣>日本



舉辦第二屆海外移地教學，由教師帶領企管、保金、會資、財稅等27名研究生，修課研究生可抵免本校畢業學分，並於成績單正式加註海外研修課程。

2019 | 第二屆 | 台灣>日本



舉辦第一屆日本來台移地教學，由商學院規劃開設7門全英與1門全日課程，並結合三間校友企業參訪與中科管理局，主題涵蓋AI大數據、文化行銷、跨域創新等主題；該學程共28位國際生涵蓋台、日、烏、菲、中、越、印、緬八地學生，並於課程結束授予修業證書。

2025 | 第一屆 | 日本>台灣

商學院台日海外移地教學 Overseas Program

2015- Present

この協力は2015年にさかのぼることができます

2015 -商學院與國立滋賀大學經濟學部合作推動「承認學分制」海外移地教學



日方隨處可見的用心-



2015.11.11

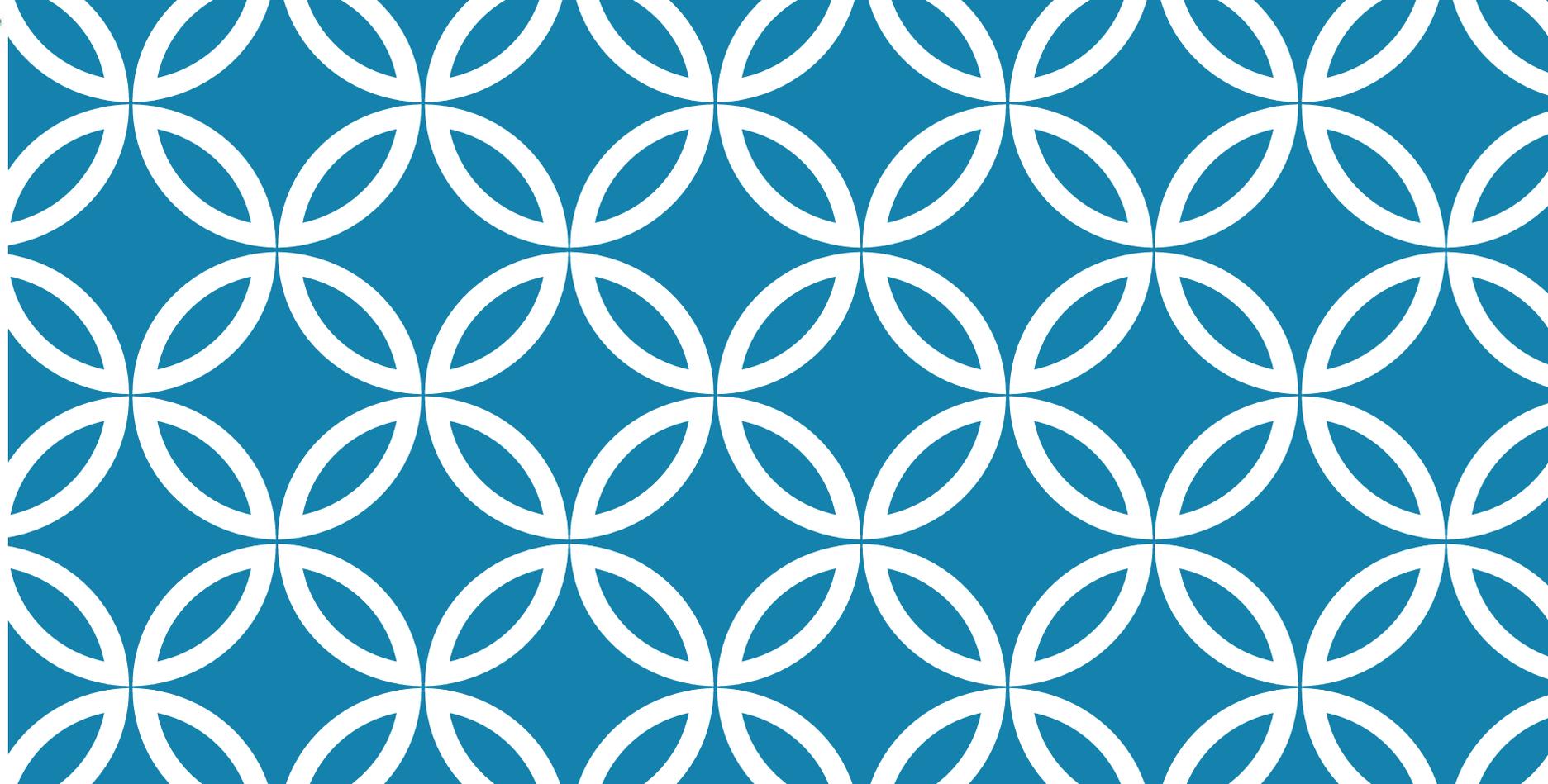
台中科技大學(商學院)-滋賀大學間の短期集中講座開設について

1. 事業内容
 - ① 滋賀大学において、台中科技大學商學院大学院生を対象とした短期集中講座を開催する。
 - ② 講座の主題： 企業経営・ビジネスイノベーション
 - ③ 講座の時期：
 - ④ 講座の期間：
2. 事業の実施主体、費用の負担など
 - ① 事業は、台中科技大學より滋賀大学に委託される。
 - ② 事業内容(講座の内容、費用)については、実施毎に両者で協議する。
 - ③ 事業(講座開設)に要する費用は、滋賀大学の請求に基づき台中科技大學より滋賀大学に支払われる。
 - ④ 講座参加者の渡航費、および滞在中の諸費用(宿泊、食事、その他雑費、移動費用)は、講座参加者の負担とする。
3. その他講座開設に係る確認事項
 - ① 講座における使用言語 : 日本語
 - ② 通訳の配置の必要性
 - ③ 教材(提示資料等)の言語
 - ④ 講座内容に関する要請事項
 - ⑤ 講座テーマ・主題の内容
 - ⑥ 工場見学等フィールドスタディの組み込み
 - ⑦ 担当部局等

2015/11/11



即將離開滋賀的我，
轉身拍了最後一張照片
跟自己說-
隔年，一定要帶中科大的學生來到這！



2017商學院 日本海外移地教學說明會

報告人: 李國瑋/曾耀鋒
2017/09/08



在兩年後的同一刻(2017/11/05-11)，
我們終於帶著商學院的研究生來到日本



海外遊學琳琅滿目，重點是-

『在日本，我們的學生可以學到什麼？』

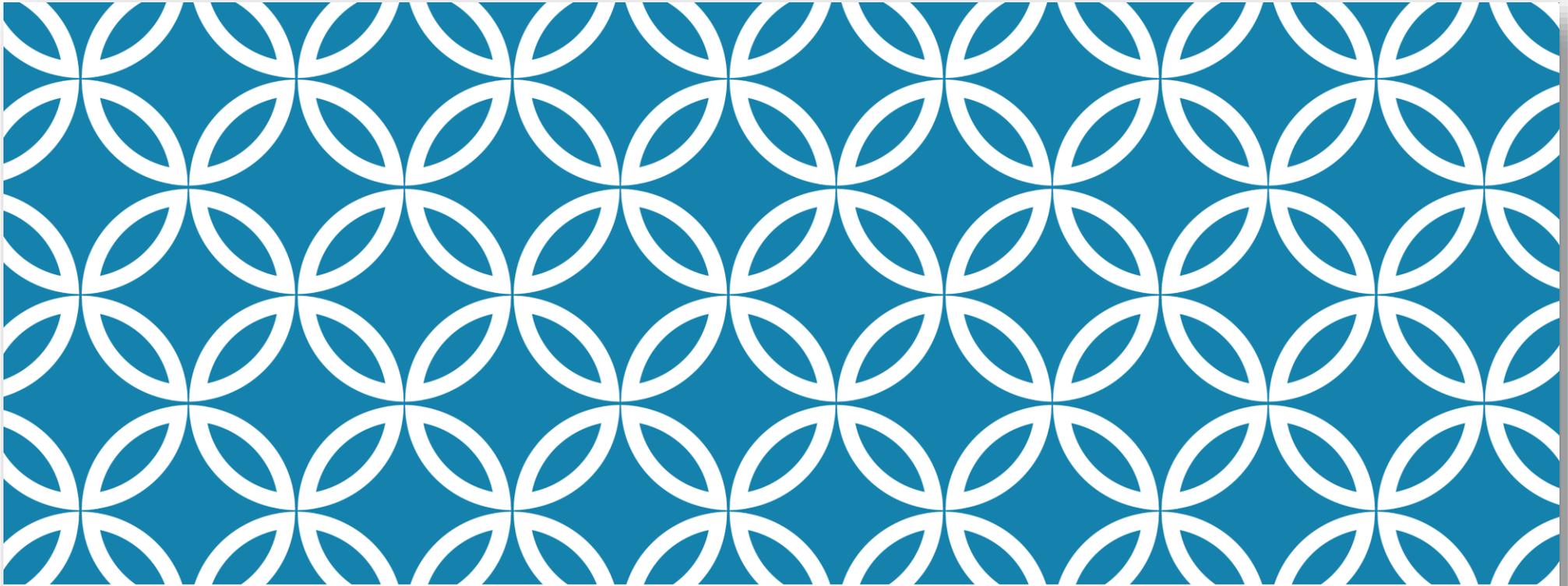
滋賀大学大学院経済学研究科
短期集中連携講義「マネジメント特殊講義」
(台中科技大学商学院大学院修士課程生対象)

11月6日 月曜日	11月7日 火曜日	11月8日 水曜日	11月9日 木曜日
バス7:40	バス7:40	バス9:40	バス9:10
9:00 請手続き 開講式 オリエンテーション 休憩	企業見学・講義 (講義④⑤) 京都銀行 「地域ビジネス支援の取組み」 「中小企業における海外ビジネス展開」	講義⑨ 小野善生教授	講義⑭ 澤木聖子教授 「日本企業における人的資源管理の特徴と今後の課題」
10:00 講義① 岡本哲弥教授 「アソシエーション分析」	於京都銀行桂川キャンパス ホテル8:00出発	休憩	休憩
11:00		講義⑩ 小野善生教授	講義⑮ 弘中史子教授 Small and Medium Sized Enterprises in the Japanese Automotive industry
12:00			修了式
13:00 昼休み	昼休み移動	昼休み	交流会
14:00 講義② 柴田淳郎准教授 経営学からの問い 「伝統産業と企業」	企業見学・講義 (講義⑥⑦⑧) 高島屋 「お客様第一主義での当社の取り組みについて」	講義⑪ 山下悠准教授 「小売業の営業形態 特徴と歴史」	
15:00 休憩	* 陳先生ご同行いただきます	講義⑫ 山下悠准教授	
16:00 講義③ 竹中厚雄准教授 「日本企業の成長戦略」		休憩	
17:00		講義⑬ 陳韻如准教授	
バス17:40	バス17:50	バス17:50	バス14:15

講義 滋賀大学彦根キャンパス第2校舎棟大会議室



百年難得- 日本的千年企業



経営学からの問い 伝統産業と企業

滋賀大学経済学部
准教授 柴田淳郎

我們常說百年企業難得，但柴田教授介紹了日本的千年企業，以及它們如何運作到今天！

ベル・フルール

高島屋京都店

NEW OPEN

2021.4.1(木)10:00～



I. タカシマヤ190年の歩み

1831年1月10日、呉服商**飯田新七**、**たかしまや**創業

●初代 飯田新七



●創業の頃の店構え



京都・烏丸高辻に古着と木綿を

扱う呉服商を創業 – **這是間有190年歷史的百貨**

在高島屋，我們看到他們如何在「**細節**」上堅持致勝！

「かしこまりました」 （会釈15度）

「少々お待ちくださいませ」 （会釈15度）

「大変お待たせいたしました」 （会釈15度）

「恐れ入りますが」 （会釈15度）

「いらっしゃいませ」 （礼30度）

「ありがとうございました。」 （礼30度）

「申し訳ございません」 （敬礼45度）

**お客様とアイコンタクトをとって、笑顔で、
丁寧に発声しましょう。**

∩ 什麼情況下，服務員鞠躬15度就好？什麼情況下應該30度？又什麼情況下，必須45度？





⑤ 「販売の7大用語」

「かしこまりました」 (会釈15度)

「少々お待ちくださいませ」 (会釈15度)

「大変お待たせいたしました」 (会釈15度)

「恐れ入りますが」 (会釈15度)

「いらっしゃいませ」 (礼30度)

「ありがとうございました」 (礼30度)

「申し訳ございません」 (敬礼45度)

お客様とアイコンタクトをとって、笑顔で、丁寧に発声しましょう。



← 這位講者，就是講義的主角，也是高島屋百貨服務至上的『典範教材』！



上午筒井教授著『日本和服』授課，他是日本商業史的學者！



日本第一内陸湖 - 琵琶湖 / びわこ Biwa Ko



はじめに—近江商人とは何か—

1. 江戸時代、近江の国（現滋賀県）から発祥した数グループの商人集団で、次のような特徴を有する。
 - 1) 近江の国に本家を置いたまま、近江を含む西国（京都・大坂・奈良等）の諸物資を持ち下って行商したり、舟運を活用して諸国に搬出し、支店（出店）を構えて販売し、さらに諸国の物産を西国に持ち帰って（上せて）現地で販売した。「ノコギリ商法」という。
 - 2) 近江の国で、農家の手工業を問屋として組織し、様々な商品を生産させ、それを持ち下った。また支店を設けた地でも酒造業等を操業した。
 - 3) 江戸期から為替、複式簿記を用いる。
2. 主要な近江商人
 - (ア) **高島商人**・高島郡大溝など。戦国時代末期から江戸時代にかけて、京都や東北に進出。南部藩盛岡の城下町形成・発展に大きく関わった。京都等の呉服・上方の雑貨を江戸・東北に持ち下り、東北・江戸・関東の物産・生糸等を持ち帰った。関東・東北で酒造を営む者もあった。
明治期の小野組、高島屋
 - (イ) **日野商人**・江戸初期から、本拠地日野では塗腕、菓等を製造し、近江産の麻織物や京都の呉服・古着などとともに関東地方や東北地方に持ち下り、原料麻や染料の紅花などを持ち帰った。江戸中期頃から出店で酒造経営を行う 現在の武田薬品、関東地方の酒造業者は近江商人であることが多い。
 - (ウ) **八幡商人**・江戸初期から八幡町（現近江八幡）で麻織物や蚊帳、畳表、井草、百草、呉服、米・酒・麴・塩・煙草・鍋・穀物・糸・漆器・煙草等を江戸・関東地方や東北・北陸・北海道へ持ち下り、干鰯（肥



筒井教授在課堂中說明，琵琶湖豐富的天然資源，在江戸時期就育蘊出釀酒與織造等產業



企業參訪 - 琵琶湖の釀酒業與織造業

日本課程與參訪值得借鏡！



「おの花」川島酒造オンラインストアへようこそ！
創業、慶応元年(1865年)

近江の原酒蔵は、比良連峰を途中にのぞむ高気明媚な土地柄。
清酒 ちぢみは この 恵まれた 自然の中で 創業以来150年 余り。
たえず 数万人の 健康を 考え、 本物の 味を 求めて 酒造り 一筋に 専心 している 蔵元 です。
また、 地域文化の 守り手 でありたい と 願って おります。

Learn More



回到教室，學生討論兩位社長拋出的議題..

市場V年輕世代「不愛喝日本酒」?
經營V為何二代不願接班?



最後同學討論後上台簡報，
二位社長給了精采講評與意見！



???? 様々な人の?が集まる場所 QUESTION ???? Click!

新型コロナウイルスに関連するお知らせ

詳しくはこちら

個人のお客さま

> ネットバンキング

> 投信インターネットサービス

法人(事業主)のお客さま

> ビジネスバンキング

> まとめて資金管理

> でんさいサービス

毎月月初発行
京信
タブロイド紙

スクエア

2022年3月
Vol.32



商談会で販路拡大をサポート

当金庫は2012年より、お取引先企業の販路開拓をサポートするために、「バイヤーマッチング商談会」を開催し、大手バイヤーとの商談の機会をご提供してきました。しかし、コロナ禍の影響により、一つの会場に多くの方が集まる商談会の開催は難しい状況に。そんな中、「なんとか事業者様のために商談会を開催したい」との想いから、当金庫では支店ごとに少人数制の商談会を開催しています。



read
now

出現在這裏，
肯定很重要！



ゆたかなコミュニティを求めて

京都信用金庫の
タイムライン

京信のいちおし
ICHIOSHI

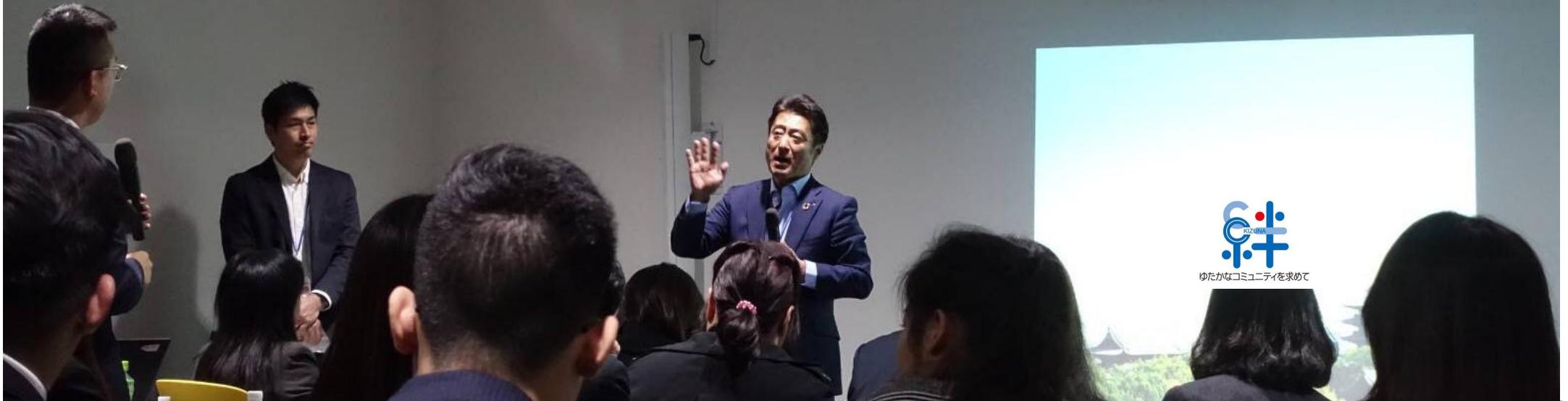
京都信用金庫の取組紹介ページ

スクエア

毎月発行タブロイド紙



ゆたかなコミュニティを求めて



營業部長告訴我們：他們要透過銀行與企業無形的「牽絆」，來打造競爭銀行難以跨越的進入障礙！



各組同學討論「如何」讓銀行與企業能夠「創造牽絆」？



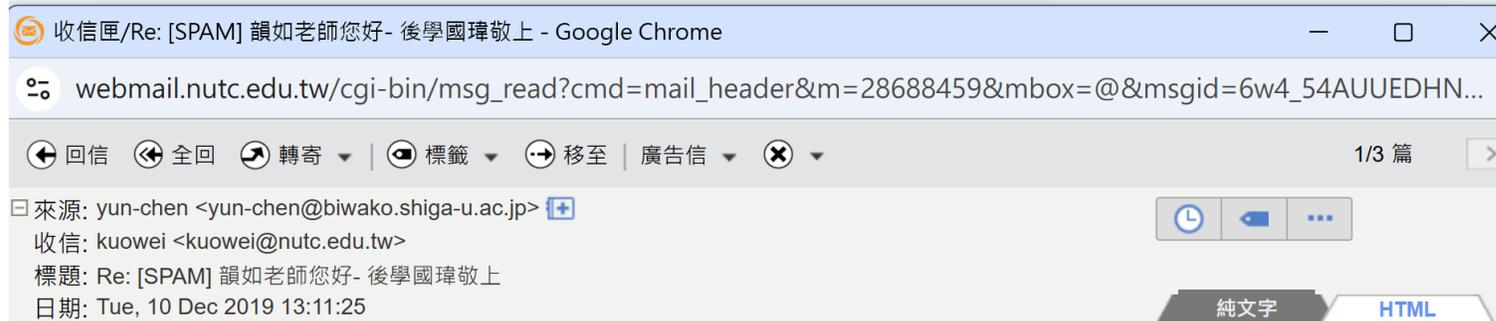
最後由部長分享他們具體的作法與成果！

在一項活動花費如此多的篇幅介紹，我們要表達的是-我們努力規畫學生每一項學習活動，我們衷心企盼著終有一天-
「學生的人生，可以因為來到這間學校而變得更好」



「認真學習，讓自己更棒」的中科大學生永遠最帥！





忍不住提筆感謝 當時規劃安排的 陳韻如老師！

差出人: kuowei <kuowei@nutc.edu.tw>
送信日時: 2019年11月15日 18:56
宛先: yun-chen
件名: [SPAM] 韻如老師您好- 後學國璋敬上

韻如老師您好:

近日在整理商學院日本海外移地教學照片時，看到同學在京都信用金庫開心合影，即便課程結束後，仍在群組再三討論餘味未盡，讓我忍不住寫了這封mail 給您，感謝您在11/3-9日本行的諸多付出與協助。

當知道京都信用金庫的日文簡報，是您徹夜翻成中文時，心中除了感動，還是感動！我們雖準備同步口譯，但您仍唯恐同學理解有限而默默連夜趕工，感激之餘，卻不解您何以為這群台灣學子付出至此？

細心的耀鋒老師說:

您從台灣到日本任教多年，生命的大部份雖在日本，但「台灣」終是您的故鄉；這群台灣的同學，雖素昧平生，卻是來自家鄉的學子。或許是這份故土舊情，讓您忍不住想為他們做更多！

您的付出，我們感受到了！感動的背後，往往是深刻的回憶，2019年商學院日本海外移地教學，我很肯定，將如同2017年般，在同學的人生中，留下最美與最好的回憶！

再次感謝滋賀大學的小倉副校長、田中學部長、韻如老師您與其他八位教授，因為您們無私的付出，才能讓我校學子，在日本最美的秋日時節，一圓人生的海外遊學夢。再次由衷感謝您的付出！

敬祝 一切安好

後學 李國璋 謹上

團長暨台灣國立台中科技大學商學院副院長

令和6年9月6日

令和6年度「人文・社会科学系ネットワーク型大学院構築事業 国際連携型」の 選定結果を公表します

令和6年度大学教育再生戦略推進費「人文・社会科学系ネットワーク型大学院構築事業 国際連携型」について、独立行政法人日本学術振興会において設置される「人文・社会科学系ネットワーク型大学院構築事業委員会」の審査を踏まえ、本年度の採択事業を決定しましたのでお知らせします。

記

- 事業の目的**

本事業「人文・社会科学系ネットワーク型大学院構築事業 国際連携型」は、「人文科学・社会科学系における大学院教育の振興方策について（審議まとめ）」（令和5年12月22日 中央教育審議会大学分科会）等を踏まえ、ネットワーク型の教育研究を通じて、国際社会の期待に応える新たな人文科学・社会科学系の高度人材養成モデルを構築することを目的としています。
- 審査状況**

令和6年3月8日～5月31日までの間、国公私立大学に対し公募を行い12件の申請を受け付けた後、「人文・社会科学系ネットワーク型大学院構築事業委員会」における審査を踏まえ、この度別添のとおり4件の事業が選定されました。
- 参考**

本選定結果について、文部科学省及び独立行政法人日本学術振興会ホームページに掲載します。

URL（文部科学省）：
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/jinsya-network/index.html

URL（独立行政法人日本学術振興会）：
<https://www.jsps.go.jp/j-zinsha-net/>

<担当>

文部科学省高等教育局高等教育企画課高等教育政策室
大学院振興専門官 金井 学
専門職 山田 貴生
電話：03-5253-4111 内線 3357
独立行政法人日本学術振興会人材育成事業部
大学連携課長 安藤 優樹
大学連携課長代理 安永 晋二
電話：03-3263-1742（直通）

令和6年度「人文・社会科学系ネットワーク型大学院構築事業」申請・採択状況について

(1) 申請件数

件数	12
----	----

<事業に参画する大学数（設置形態別）及び連携機関数>

	代表校となる大学数	連携校となる大学数（延べ数）	連携機関数
国立	10	0	
公立	1	0	
私立	1	1	
海外		64	
計	12	65	

(2) 採択件数

件数	4
----	---

<事業に参画する大学数（設置形態別）及び連携機関数>

	代表校となる大学数	連携校となる大学数（延べ数）	連携機関数
国立	3	0	
公立	1	0	
私立	0	0	
海外		31	
計	4	31	

(3) 採択校等一覧

区分	大学名（代表校）	事業名	大学名（連携校）	連携機関
国立	東京外国語大学	日欧4大学歴史学ダブル・ディグリープログラム—多文化的公共圏における歴史と記憶を主題に	中央ヨーロッパ大学、新リスボン大学、ミュンヘン大学、ウクライナ・カトリック大学	広島平和文化センター、リヴィウ都市研究センター、オープンソサエティ・アーカイブ
国立	滋賀大学	データ×アーツ×国際連携による新たな総合知に基づくビジネス・インサイト養成プログラム	国立臺中科技大学、SOAS (School of Oriental and African Studies)、London University、University of Florida	Silicon Valley Center of Operations and Technology Management、San Jose State University
国立	神戸大学	国際協力における価値共創高度人材育成に向けたグローバルネットワーク型共同教育研究プログラム	コロンビア大学、ダッカ大学、ジュネーブ国際開発研究大学院、ジョージ・ワシントン大学、イーストアングリア大学、フランス国立東洋言語文化学院、ナポリ東洋大学、ハワイ大学、ルーヴェン・カトリック大学、高麗大学校、復旦大学、ラオス国立大学、アイルランガ大学、チェンマイ大学、マケレレ大学、ケニヤッタ大学、マラウイ大学、ケープタウン大学、ステレンボッシュ高等研究院	世界銀行、ユネスコ、ユニセフ、経済協力開発機構、アジア開発銀行、米州開発銀行、国連アジア太平洋経済社会委員会、国際移住機関、国連開発計画、国連難民高等弁務官事務所、国際協力機構、カンボジア教育ユース・スポーツ省、ウガンダ総理府、モンゴル総理府、ラオス総理府、ラオス教育スポーツ省、イエメン教育省、ケニア教育省、ブラジル社会開発省、ガーナ財務省、バングラデシュ中央銀行
公立	愛知県立大学	多言語多文化社会で必要とされるコミュニケーションデザイン能力を有する専門職人材の共同育成	RMIT大学、バルセロナ自治大学、東海大学、ベトナムハノイ国家大学外国語大学	愛知県（県民生活部多文化共生推進室、あいち医療通訳システム）、愛知県教育委員会、公益財団法人愛知県国際交流協会、公益財団法人名古屋国際センター、公益社団法人愛知県医師会、愛知大学大学院法務研究科、メディアフォン株式会社、一般社団法人多文化社会専門職機構、大嶽達哉法律事務所

※下線は海外連携校

類別	大學名稱 (代表校)	項目名稱	合作學校	合作機構
國立	新潟大學	東亞的共通課題解決大學院國際共修計劃	中國海洋大學、東國大學、中國吉林大學、香港樹仁大學、比勒費爾德應用科學藝術大學	新潟縣、新潟產業創造機構 (NICO)、J-Startup NIIGATA 選定企業、南亞教育部長機構區域語言教育中心 (SEAMEO RELC)
國立	筑波大學	人類共通的法律與規範初創法學學位項目	羅爾大學波鴻校區、國立聖馬科斯大學	株式會社 Akari
國立	東京大學	國際社會所需的公共政策高級人才培養與職業發展項目	澳大利亞國立大學、倫敦國王學院、哥倫比亞大學、新加坡國立大學、多倫多大學、魯汶天主教大學	Sym podium Institute for Strategic Communications
國立	東京外國語大學	日歐四大學歷史學雙學位項目——在多文化公共領域的歷史與記憶	中央歐洲大學、新里斯本大學、慕尼黑大學、烏克蘭天主教大學	廣島平和文化中心、里瓦都市研究中心、Open Society Archives
國立	一橋大學	「未來橋樑」一橋大學全球職業發展支持項目	首爾大學、魯汶天主教大學、巴塞羅那國際研究所 (IBEI)、延世大學、西北大學、蒙納士大學、劍橋大學亞洲中東研究部	聯合國開發計劃署 (UNDP)、世界貿易組織 (WTO)、國際原子能機構
國立	金澤大學	國際協作型全球可持續性領導力人才培養計劃	澳大利亞國立大學、清邁大學、艾伯斯瓦爾德大學、海因里希海涅大學杜塞爾多夫、提拉克馬哈拉希達比斯、延世大學	Center for Cultural Studies and Languages "Sambhava Foundation"、白山手取川地質公園推進協議、白山市、NPO 法人白山白峰自然學校
國立	滋賀大學	數據×藝術×國際合作-基於綜合知識的商業洞察培養計劃	國立臺中科技大學、倫敦大學東方與非洲研究學院、佛羅里達大學	矽谷運營與技術管理中心-聖荷西州立大學
國立	神戶大學	國際合作中的共創高級人才培養全球網絡型聯合教育研究計劃	哥倫比亞大學、達卡大學、日內瓦國際開發研究學院、喬治華盛頓大學、東英吉利大學、法國國立遠東語言文化學院、那不勒斯東方大學、夏威夷大學、魯汶天主教大學、高麗大學、復旦大學、老撾國立大學、馬拉威大學、肯尼亞塔大學、開普敦大學、斯泰倫博施高等研究院	世界銀行、聯合國教科文組織 (UNESCO)、聯合國兒童基金會 (UNICEF)、經濟合作與發展組織 (OECD)、亞洲開發銀行、美洲開發銀行、聯合國亞洲及太平洋經濟社會委員會、國際移民組織、聯合國開發計劃署、聯合國難民事務高級專員公署、國際合作機構、柬埔寨教育青年體育部、烏干達總理府、蒙古總理府、老撾總理府、老撾教育體育部、也門教育部、肯尼亞教育部、巴西社會發展部、加納財政部、孟加拉國中央銀行
國立	廣島大學	可持續組織文化形成的高級全球管理人才培養計劃	北京外國語大學、墨爾本大學	株式會社 FPico、株式會社 Satake、住友商事株式會社中國分公司、美光存儲日本株式會社、馬自達株式會社
國立	長崎大學	以長崎為起點的共創型日本研究基礎的全球人才培養計劃	魯汶天主教大學、萊頓大學、臺灣大學、天津師範大學	朝日新聞社 (長崎總局)、共同通訊社、KTN 電視長崎管理組、公益財團法人長崎地區政策研究所
公立	愛知縣立大學	多語多文化社會所需的溝通設計能力專業人才共同培養	RMIT 大學、巴塞羅那自治大學、東海大學、越南河內國家大學外國語大學	愛知縣 (縣民生活部多文化共生推進室、愛知醫療通譯系統)、愛知縣教育委員會、公益財團法人愛知縣國際交流協會、公益社團法人愛知縣醫師會、愛知大學大學院法務研究科、Medi Phone 株式會社、一般社團法人多文化社會專業機構、大岳達也法律事務所
私立	事業構想大學院大學	第二、第三創業全球項目	Prin.L.N.Welingkar Institute of Management Development and Research、印度管理學院-Nagpur、社會構想大學院大學	Indobox 株式會社、Hiroshima House Cambodia、T-Hub

計畫期程
2024-2029
計畫核訂總金額
236,100,000JPY×
0.24TWD/JPY
= 56,664,000 TWD

3. 実施計画

(1) 年度別の計画【2ページ以内】

令和6年度	令和6年度 ①10月・・・当該プログラムのキックオフのための実施組織の立ち上げ ②11月～3月・・・当該プログラム実施にむけての情報収集と分析 ③11月～3月・・・当該プログラムに関するカリキュラムの整理・編成 ④11月～3月・・・特任教員（英語）の採用 ⑤11月～3月・・・海外研修の準備（台中科技大学、サンノゼ州立大学） ⑥11月～3月・・・英語講義提供実施に関する協議（SOAS、フロリダ大学） ⑦11月～3月・・・当該プログラムの広報活動
令和7年度	①4月・・・当該プログラムの始動 ②4月～3月・・・当該プログラムの広報活動 ③4月～3月・・・インターンシップ企業の開拓 ④8月～9月・・・海外研修の実施（台中科技大学、サンノゼ州立大学） ⑤2月・・・自己点検・評価委員会の開催
令和8年度	①4月～3月・・・当該プログラムの実施 ②4月～3月・・・インターンシップ企業の拡充 ③8月～9月・・・海外研修の実施（台中科技大学、サンノゼ州立大学） ④2月・・・自己点検・評価委員会の開催 ⑤5月・・・当該プログラムの第1期認定生の輩出/修了生アンケート実施
令和9年度	①4月～3月・・・当該プログラムの実施 ②4月～3月・・・当該プログラムの改善案の検討 ③4月～3月・・・インターンシップ企業の見直し ④6月～9月・・・外部評価の実施 ⑤8月～9月・・・海外研修の実施（台中科技大学、サンノゼ州立大学） ⑥2月・・・自己点検・評価委員会の開催 ⑦5月・・・当該プログラムの第2期認定生の輩出/修了生アンケート実施
令和10年度	①4月～3月・・・当該プログラム改善版の実施 ②4月～3月・・・インターンシップ企業の見直し ③6月～9月・・・外部評価の実施 ④8月～9月・・・海外研修の実施（台中科技大学、サンノゼ州立大学） ⑤2月・・・自己点検・評価委員会の開催 ⑥5月・・・当該プログラムの第3期認定生の輩出/修了生アンケート実施
令和11年度	①4月～3月・・・当該プログラム改善版の実施 ②4月～3月・・・インターンシップ企業の見直し ③6月～9月・・・外部評価の実施 ④8月～9月・・・海外研修の実施（台中科技大学、サンノゼ州立大学） ⑤2月・・・自己点検・評価委員会の開催 ⑥3月・・・当該プログラムの第4期認定生の輩出/修了生アンケート実施

(2) 補助期間に係る補助事業予定額

※ 文部科学省や他省庁が実施する他の補助金は「自己負担予定額」に計上しないこと。
 ※ 補助期間最終年度の前年（令和10年度）は当初配分額の2/3に、最終年度（令和11年度）は当初配分額の1/3に減額予定と
 いうことを踏まえて、補助事業予定額を計上願います。

(単位：千円)

年 度		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
補助事業予定額		40,000	43,114	43,114	43,114	40,254	27,504
内訳	補助金申請予定額	40,000	40,000	40,000	40,000	26,666	13,333
	自己負担予定額	0	3,114	3,114	3,114	13,588	14,171

(3) 補助金申請予定額の積算内訳 → 【様式2】

4. 他の公的資金との重複状況（該当が無い場合は「なし」と記入）

なし

計畫期程

2024-2029

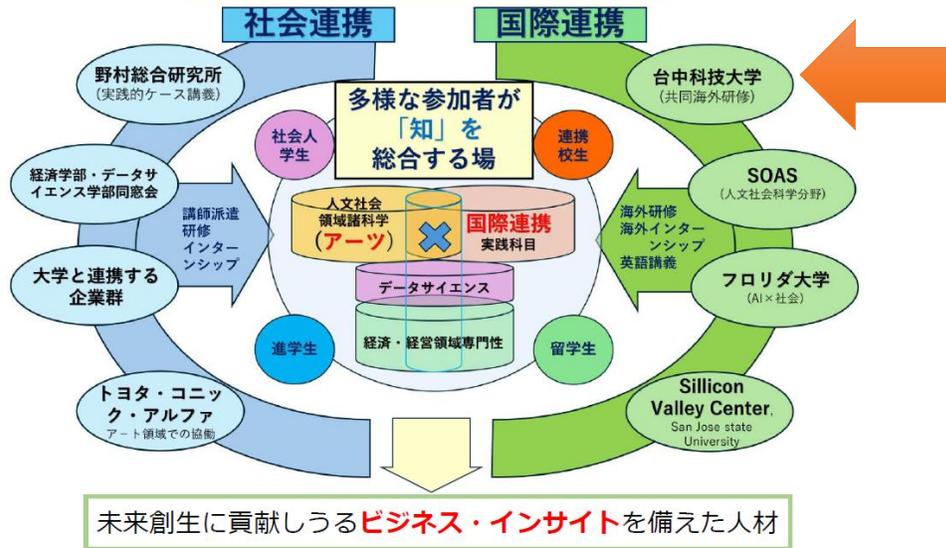
計畫總金額

236,100,000JPY×0.24TWD/JPY=56,664,000TWD

データ×アーツ×国際連携による新たな総合知に基づく
ビジネス・インサイト養成プログラム



大学院：「総合知」形成の場



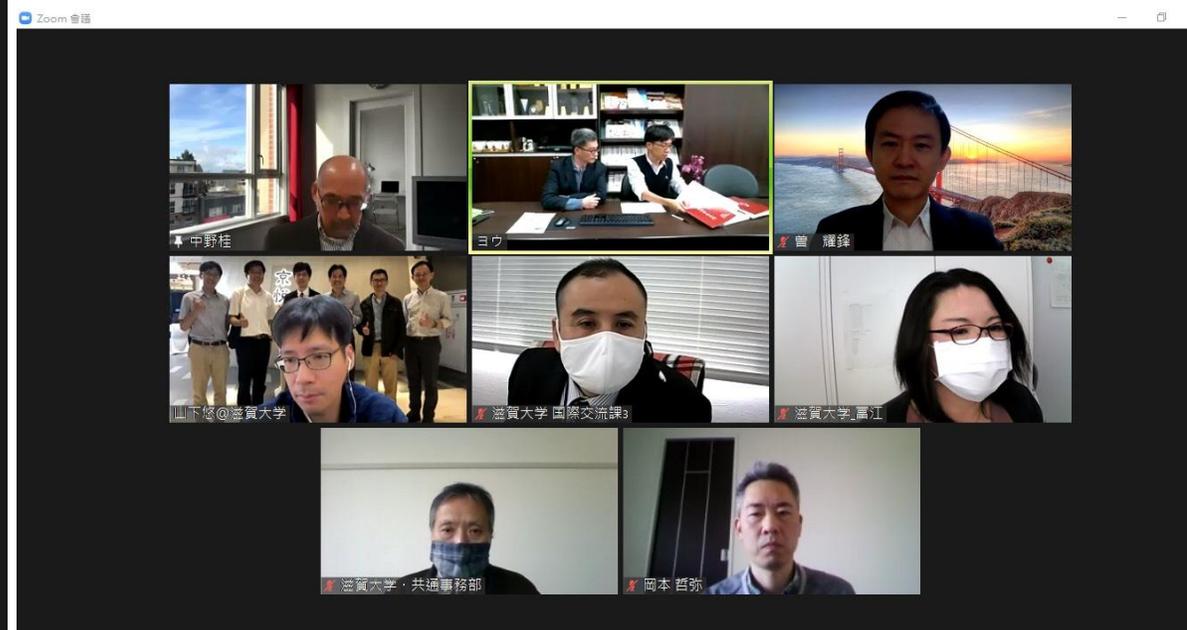
此一跨国共學研修計畫的通過，
是雙方過去十年積累的成果↓

2024年9月，日本國立滋賀大學與海外合作大學-台灣國立台中科技大學-商學院、英國倫敦大學-東方與非洲研究學院、美國佛羅里達大學與矽谷運營與技術管理中心-聖荷西州立大學，獲日本文部科學省「人文・社會科學系網絡型大學院構建事業（國際聯合型）（中譯）」計畫審核通過，將執行六年期程，計畫總經費達2億3千6百餘萬(日圓)的跨國合作人才培育計畫。

該提案提出「數據×藝術×國際合作的綜合知識基礎之商業洞察力人才的培養計畫」。隨著金融科技、區塊鏈、淨零碳排到生成式AI，乃至於地緣政治崛起，商業現場需解決的問題多元且複雜，此時「數據科學領域的事實與證據基礎的評價與決策能力」，以及「發現並洞察尚未顯現的社會需求的能力」將至為關鍵，而「綜合知」將是形塑上述能力的重要基石。

該計畫將以滋賀大學數據科學研究科和經濟學研究科為起點，結合國際合作學校與機構的多元資源(包括國立台中科技大學等)，共同建構起學習者的「綜合知」基礎，進而發展學生「變化的感知力・評價力」(感知力)、「社會的共感力・社會需求的想像力」(共鳴力)、團隊合作的「協作力」與自由的創意力(創意力)，通過多學科的知識與實踐，形成更高層次的思維和解決問題的能力。

2021年3月，與日本國立滋賀大學經濟學部中野桂學部長與專責教授群遠距視訊討論。



- 商學院與日本國立滋賀大學遠端視訊會議

2024
11/20



令和6年度「人文・社会科学系ネットワーク型大学院構築事業（国際連携型）」
**『データ×アーツ×国際連携による新たな総合知に基づく
 ビジネス・インサイト養成プログラム』**

申請大学：滋賀大学
 海外連携校：國立臺中科技大學・SOAS (London University)・University of Florida

令和6年8月23日

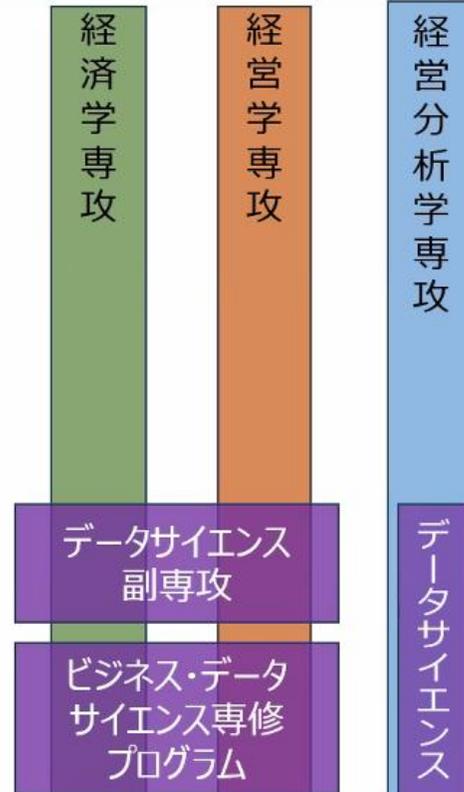
2024年11月 我們迎來另一場國際合作盛宴



本事業の狙い



経済学研究科博士前期課程



従来の経済学研究科の教育

- ▶ 高度な専門知識（経済学、経営学など）の修得
- ▶ 修士論文の執筆を通じた、論理的思考力の獲得

近年の取り組み：データサイエンス教育の強化

- ▶ 2019年度 データサイエンス副専攻の設置
- ▶ 2022年度 ビジネス・データサイエンス専修プログラム設置
- ▶ 2024年度 経営分析学専攻の新設

経済学研究科の課題

- ▶ 教育研究が机上・研究室内で完結する
- ▶ 国際感覚・現場感覚・ビジネス感覚の不足



ビジネス・インサイト養成プログラム

- ① 人文・社会科学（アーツ）方法論
- ② 国際連携実践教育

令和6年度「人文・社会科学系ネットワーク型大学院構築事業（国際連携型）」

『データ×アーツ×国際連携による新たな総合知に基づく
ビジネス・インサイト養成プログラム』

申請大学：滋賀大学
海外連携校：國立臺中科技大學・SOAS (London University)・University of Florida

令和6年8月23日

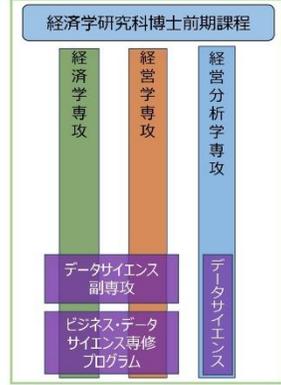


ビジネス・インサイト養成プログラム（認定要件：20単位以上）



種別	英語による講義科目群	人文・社会科学方法論科目群	国際実践連携科目
概要	英語による講義科目	人文・社会科学領域における方法論もしくは論理的思考を重視する科目	実証的応用力や実務能力を体験的に修得
履修科目	<ul style="list-style-type: none"> Business and Economic History Microeconomic Analysis Applied International Economics Principles of Business Management Society and Social Science ビジネス英語 パラグラフライティング 	【定性的方法論重視】 <ul style="list-style-type: none"> アート思考ビジネスデザイン特講 文化人類学特講 社会学特講 行動科学特講 ダイバーシティ・マネジメント特講 ビジネスエシックス特講 日本社会史特講 I・II 歴史学方法論 定性的調査論 【論理的思考重視】 <ul style="list-style-type: none"> ミクロ経済学特講 I・II マクロ経済学特講 I・II 論理学 哲学 I・II 	<ul style="list-style-type: none"> 経営・コンサルティング特別講座 I・II グローバル・ビジネス概論 I・II コンサルティング各論 ワークショップ I～IV ワークショップ V～VIII インターンシップ I・II 海外研修（必須）
必要単位数	6単位以上	6単位以上	8単位以上

本事業の狙い



従来の経済学研究科の教育

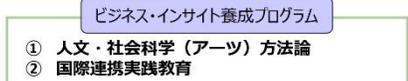
- 高度な専門知識（経済学、経営学など）の修得
- 修士論文の執筆を通じた、論理的思考力の獲得

近年の取り組み：データサイエンス教育の強化

- 2019年度 データサイエンス副専攻の設置
- 2022年度 ビジネス・データサイエンス専修プログラム設置
- 2024年度 経営分析学専攻の新設

経済学研究科の課題

- 教育研究が机上・研究室内で完結する
- 国際感覚・現場感覚・ビジネス感覚の不足



事業の実施体制（担当者一覧）



氏名	所属・職名	事業における役割
岡本 哲弥	滋賀大学・経済学研究科長・教授	事業全体を統括
陳 韻如	滋賀大学・経済学研究科副研究科長・教授	事業全体の統括を補佐
金 乗基	滋賀大学・経済学研究科経済学専攻長	国際連携・実践科目群の運営担当
澤木 聖子	滋賀大学・経済学研究科経営学専攻長	人文・社会科学科目群の運営担当
中野 桂	滋賀大学・経済学研究科経営分析学専攻長	英語実施科目群の運営担当
渡部 雅之	滋賀大学・理事副学長	事業の遂行を支援・管理
須藤 正幸	滋賀大学・理事副学長	事業にかかる国際連携・産学連携を支援
李 國璋	台中科技大学商学院・商学院長・教授	事業における海外研修プログラムの共同実施
曾 耀鋒	台中科技大学商学院・副教授	事業における海外研修プログラムの共同実施
Taeho Park	Silicon Valley Center of Operations and Technology Management, San Jose State University・Director	事業における海外研修プログラムの実施に協力
Satoshi Miyamura	Department of Economics, SOAS, University of London・Head	事業における英語での講義・海外研修プログラムの実施に協力
Susanne Hill	International Center, University of Florida・Executive Director & Director of UF Study Abroad Services	事業における英語での講義・海外研修プログラムの実施に協力
プログラムマネージメント担当教員（雇用予定）	滋賀大学・経済学研究科・准教授	プログラムコーディネーター（海外研修プログラム及び参加院生のマネージメント）

2025/02

日方來訪討論 2025
國際交流推動事項



BILATERAL CO-OPERATION



國立臺中科技大學
NATIONAL TAICHUNG UNIVERSITY
OF SCIENCE AND TECHNOLOGY



滋賀大学

國立臺中科技大學商學院 暨 滋賀大学大学院經濟学研究科

國際交流與合作計畫

Welcome



February 25-26, 2025



十年情誼與信任，讓我們簽訂未來六年合作計畫。



十年情誼與信任，讓我們簽訂未來六年合作計畫。



台日商學院為未來國際人才培育計畫跨出重要的第一步。

International Master of Business Administration in intelligent Operations Program

Empower Your Future in Management with Intelligence and Global Insight

Graduate Admissions

Open for Fall 2024

 JOIN NOW

+886-4-22196002 <https://business.nutc.edu.tw>

iOMBA
College of Business
National Taichung University of Science and Technology

打造在校學生與國際生「永續共學」的環境

Studying with International Students

2024/09



全球視野 Global Vision



來訪日籍教授至 IOMBA 教學觀摩





來訪日籍教授至 IOMBA 教學觀摩



來訪日籍教授至 iOMBA 教學觀摩



【2025/9 國立台中科大學商學院與日本國立滋賀大學跨國人才培育計畫】

2025 商學院「國際共學 × 跨域創新」研修活動

【與日本國立滋賀大學研究生、商學院iOMBA國際生跨文化共學】



短短五天，開啓亞洲新視野，體驗全英商管趨勢
挑戰HBR哈佛個案
走進永續創新業業、特斯拉供應鏈與中科管理局
探訪台灣特有人文風景-B型企業



Join us!
See Asia in a new way!



Certificate
Participants will receive an official Certificate of Completion in English.

Program Faculty By instructional sequence



Dr. Huang, Yi-Fen
Unit 1, 2 - Day 1
Global Competitive Strategy - HBR Case Study: Asia Optical



Dr. Hsu, Yi-Chung
Unit 3 - Day 1
ROI of Life: Should You Invest in a House, a Baby, or Just Yourself?



Dr. Hsu, Shih-Yun
Unit 4 - Day 1
Culture and Consumer Behavior



Dr. Chen, Mei-Ping
Unit 5 - Day 2
Big Data Analysis and AI



Dr. Chen, Chun-Chih
Unit 6 - Day 2
Data-Driven Strategy: Mastering Business Insights with ChatGPT



Dr. Chen, Yu-Tsang
Unit 7 - Day 2
Beyond Borders: Emerging Trends and Strategic Innovations in International Trade Shows



Dr. Tseng, Yao-Fen
Unit 8 - Day 2
二つの市場、一つの制度？日本統治時代の知られざる台湾保険マーケットの物語

Program Venue



7203 Seminar Room



7601 BI Lab



7602 Fintech Lab



7605 SDGs Lab

Industry Mentor By visit sequence



Alumni Company Visit - Day 3
Yung-Chu Cheng, Chairman of Motex (Modern Healthcare Corp.), known for Taiwan's COVID-19 mask national team



Alumni Company Visit - Day 3
Lin, Tai-Lang, Corporate President of Asia Optical, known as "the eyes of Tesla"



Alumni Company Visit - Day 4
Wang, Kuo-Hsiung, Chairman of Cometree Coffee, a certified B Corporation in Asia



2025.9.22-9.26
Monday to Friday



AM 8:40-4:50 PM



7203 研討室
7601 商業智慧教室
7602 金融科技教室
7605 永續發展教室



報名資格
商學院全學制學生/多益620以上
院辦協助修業同學開立公假證明
全程免費，採申請制辦理
錄取名單將於指定日期公告

Register Now



Program Overview



商學院5樓院辦
何小姐04-22196195

商 | 學 | 院
College of Business

商學院「國際共學 X 跨域創新」研修活動:

由商學院規劃開設7門全英與1門全日課程，並結合三間校友企業參訪與中科管理局，主題涵蓋AI大數據、文化行銷、跨域創新等主題；該學程共28位國際生涵蓋台、日、烏、菲、中、越、印、緬八地學生，並於課程結束授予修業證書。

2025 商學院「國際共學 X 跨域創新」研修活動							
Date Time	9/22 Mon.	Date Time	9/23 Tue.	Date Time	9/24 Wed.	Date Time	9/25 Thurs.
8:10-8:40 30 min	Opening Ceremony						
8:40-8:50 10 min	Recess						
8:50-10:20 90 min	Unit 1 Dr. Yi-Fen Huang Global Competitive Strategy- HBR Case Study: Asia Optical Room : 7805	8:40-10:10 90 min	Unit 5 Dr. Mei-Ping Chen Big Data Analysis and AI Room : 7602	8:40-11:30 170 min	Company Visit: "TSMC" – TSMC Innovation Museum	9:00-11:30 150 min	Company Visit: "Cometrue Coffee" – Seminar and Experience Sharing with Taiwan's B Corporation
10:20-10:30 10 min	Recess	10:10-10:30 20 min	Recess				
10:30-12:00 90 min	Unit 2 Dr. Yi-Fen Huang Global Competitive Strategy- HBR Case Study: Asia Optical Room : 7805	10:30-12:00 90 min	Unit 6 Dr. Chun-Chih Chen Data-Driven Strategy with ChatGPT Room : 7601				
12:00-13:30 90 min	Lunch Time	12:00-13:30 90 min	Lunch Time	11:30-14:00 150 min	Lunch and Travel	11:30-12:00 30 min	Travel
13:30-15:00 90 min	Unit 3 Dr. I-Chung Hsu ROI of Life: Should You Invest in a House, a Baby, or Just Yourself? Room : 7203	13:30-15:00 90 min	Unit 7 Dr. Yu-Tsang Chen Beyond Borders: Trends in International Trade Shows Room : 7203			12:00-12:30 30 min	Completion Ceremony
15:00-15:20 20 min	Recess	15:00-15:20 20 min	Recess	14:00-16:30 150 min	Company Visit: "Tesla's Eyes" – Asia Optical	12:30-14:00 90 min	Farewell Meeting
15:20-16:50 90 min	Unit 4 Dr. Shih-Yun Hsu Culture and Consumer Behavior Room : 7203	15:20-16:50 90 min	Unit 8 Dr. Yao-Feng Tseng 教授 二つの市場、一つの制度？日 本統治時代の知られざる台湾 保険マーケットの物語 Room : 7203				商 學 院 College of Business

FACULTY & RESEARCH

FACULTY RESEARCH FEATURED TOPICS ACADEMIC UNIT

Harvard Business School → Faculty & Research

Publications

OCTOBER 2013 (REVISED AUGUST 2015) CASE HBS CASE COLLECTION

Asia Optical: The Myanmar Decision

By: Dante Roscini, Michael Shih-ta Chen and Keith Chi-ho Wong

Format: Print | Language: English | Pages: 34

ABOUT THE AUTHOR



Dante Roscini
Business, Government
Economy

→ More Publications

Email Print Share

Recommend 0 Share

RELATED

CITATION
Roscini, Dante, Michael Shih-ta Chen, and Keith Chi-ho Wong. "Asia Optical: The Myanmar Decision." Harvard Business School Case 21-026, October 2013. (Revised August 2015.)



2025 International Collaborative Learning × Cross-domain Innovation Program



Program Highlights:

Alumni Company Visit – Asia Optical

Explore business insights with one of Taiwan's leading global enterprises, known as "the eyes of Tesla"

HBR Business Case Study – Asia Optical

Corporate Host: Mr. Tai-Lang Lin, Corporate President of Asia Optical (Responding to the core issues of the HBR case)

ORGANIZERS: COLLEGE OF BUSINESS, NCTUST × GRADUATE SCHOOL OF ECONOMICS, SHIGA UNIVERSITY, JAPAN

【企業參訪不走馬看花的關鍵-校友企業】



訂閱天下

最新出刊 ▶ 美軍神祕小組駐台！矽谷腦+台灣手，超越iPhone的軍工兆元商機

產業 > 製造

特斯拉的眼睛、小米掃地機器人 「鏡頭界鴻海」亞光如何翻身？

美國電動車大廠特斯拉市值破兆，背後這家台灣光學鏡頭廠商，始終低調生產「特斯拉的眼睛」，苦熬多年終於迎來車用商機！《天下》獨家專訪「鏡頭界的鴻海」亞光董事長賴以仁，從數位相機股王到手機時代慘虧，浮沉多年的他，如何讓公



Asia Optical: The Myanmar Decision

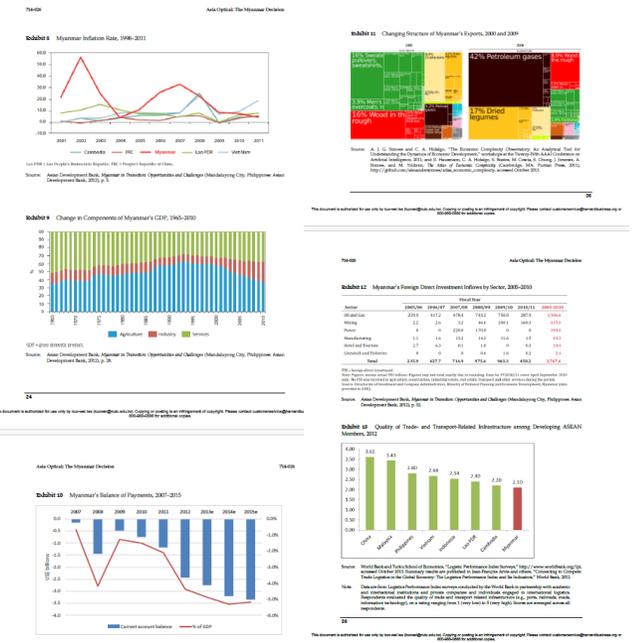
"The Future – We Make It Brighter"

— Asia Optical's company slogan

In October 2013, Chairman Robert Lai was in an elevator heading to the executive floor at the headquarters of Asia Optical Co., Inc. (AO), in Taichung, Taiwan. Lai had just heard a radio news report about continuing ethnic violence in Thabyaung Myanmar, between the majority Buddhist population and a minority Muslim group. As a leading original design manufacturer (ODM) contracting for major Japanese camera brands, AO operated in a highly cost-sensitive industry. It was also a forerunner in offshoring operations to countries such as China and the Philippines, where it had overcome significant financial, regulatory, and personnel difficulties. The challenges it faced in Myanmar, however, were unique due to the country's political isolation.

Founded in 1981 by Lai in Taichung, AO made optical lenses and other imaging components used inside digital cameras, projectors, printers, and scanners for Tier-1 Japanese-brand vendors, such as Ricoh, Olympus, Nikon, and Pentax. As Lai arrived at his office, he was mulling over the consequences of expanding AO's manufacturing operations in Myanmar, where the company first entered in 2003. After its first factory at an industrial park near the capital city of Yangon exceeded expectations, AO opened a second manufacturing plant in northern Myanmar in 2012. However, the country still suffered from a deep lack of infrastructure and political and regulatory stability, despite its recent "opening" after decades of self-imposed isolation and global economic sanctions.

At the same time, the camera industry had experienced a major downturn after the 2008 global financial meltdown. AO, together with most of the Tier-1 Japanese players, had been losing money as product replacement cycles invariably slowed amid falling consumer confidence in major markets in developed economies. More specifically, consumers were buying fewer peripheral items, postponing their purchases, or substituting cheaper products. Meanwhile, the emergence of smartphones and tablet computers with image-capture functions stabilized the market but created a need for improved integration between optical and digital technologies. What should AO do to realign its resources across different product categories, technology platforms, and geographic markets? How could AO leverage its regional product manufacturing network, expertise, and human resources across East Asia both to ensure cost advantages and to remain at the cutting edge of new technologies? How important would Myanmar be in AO's regional operations? Would the outcome of Myanmar raise more opportunities



【洲光學-科技轉型】

2023/11 越南同奈來訪的成功經驗
讓我們相信哈佛商學院個案教學一定可以帶給日本學生豐碩的收穫！



2025 International Collaborative Learning × Cross-domain Innovation Program



Program Highlights:

Alumni Company Visit – Motex (Modern Healthcare Corp.)

- Company introduction briefing
- Interactive session with management: Group discussions on “What’s next for Taiwan’s mask kingdom in the post-pandemic era”

Corporate Host:

- Mr. Yung-Chu Cheng, Chairman of Motex, known for Taiwan’s COVID-19 mask national team and President of the NTCUST Alumni Association
- Providing feedback on the group discussion results

ORGANIZERS: COLLEGE OF BUSINESS, NTCUST × GRADUATE SCHOOL OF ECONOMICS, SHIGA UNIVERSITY, JAPAN



台灣口罩國家隊- 華新醫材集團

台中科大校友總會 鄭永柱總會長暨華新 醫材董事長



【華新醫材-永續創新】

Covid-19疫後口罩王國-Motex的下一步



03 成真社會企業的經營【掘井計畫】



【成真咖啡-社會企業】 咖啡循環讓世界更美好！

03 成真社會企業的經營【B型企業】

社會企業(Taiwan) → B型企業(Global)

- 全球5000家B.Corp
- 台灣31家B.Corp
- B型企業就是共益企業



2025 International Collaborative Learning × Cross-domain Innovation Program



Program Highlights :

Alumni Company Visit – ComeTrue Coffee (B Corporation)

- Company introduction briefing
- CEO Alex Fan: B Corporation philosophy and Q&A



Corporate Host:

Mr. Alex Fan, CEO of ComeTrue Coffee, a certified B Corporation in Asia

2023/07/18

小英總統與烏拉圭總統蒞訪成真咖啡！



Come True
COFFEE

院公告：歡迎商學院本地生踴躍報名與國際生一起共學，全程免費！
 備註：此行授課教師鐘點、學校場租、參訪經費皆由日本經費支應。

2025



商學院「國際共學 × 跨域創新」研修活動

【與日本國立滋賀大學、商學院iOMBA國際生跨文化共學】

短短五天，開啓亞洲新視野，體驗商管永續新趨勢
 挑戰HBR哈佛個案，走進高科技產業、特斯拉供應鏈與中科管理局
 探訪台灣特有人文風景-B型企业

Program Faculty



Dr. Huang, Yi-Fen
 Unit 1,2 - Day 1
 Global Competitive Strategy -
 HBR Case Study : Asia Optical 7605 SDGs Lab



Dr. Hsu, Yi-Chung
 Unit 3 - Day 1
 ROI of Life : Should You Invest in a House,
 a Baby, or Just Yourself?



Dr. Hsu, Shih-Yun
 Unit 4 - Day 1
 Culture and Consumer Behavior



Dr. Chen, Mei-Ping
 Unit 5 - Day 2
 Big Data Analysis and AI



Dr. Chen, Chun-Chih
 Unit 6 - Day 2
 Data-Driven Strategy : Mastering
 Business Insights with ChatGPT



Dr. Chen, Yu-Tsang
 Unit 7 - Day 2
 Beyond Borders: Emerging Trends and Strategic
 Innovations in International Trade Shows



Dr. Tseng, Yao-Fen
 Unit 8 - Day 2
 二つの市場、一つの制度？日本統治時代の
 の知られざる台湾保険マーケットの物語

Program Venue



7203 Seminar Room



7601 BI Lab



7602 Fintech Lab



7605 SDGs Lab

Industry Mentor



Alumni Company Visit - Day 3
 Yung-Chu Cheng, Chairman of Motex
 (Modern Healthcare Corp.), known for
 Taiwan's COVID-19 mask national
 team



Alumni Company Visit - Day 3
 Lin, Tai-Lang, Corporate President of
 Asia Optical, known as "the eyes of
 Tesla"



Alumni Company Visit - Day 4
 Wang, Kuo-Hsiung, Chairman of
 Comettrue Coffee, a certified B
 Corporation in Asia



2025.9.22-9.26
 Monday to Friday



AM 8:40-4:50 PM



7203 研討室
 7601 商業智慧教室
 7602 金融科技教室
 7605 永續發展教室



報名資格
 | 本校全學制學生/多益620以上
 | 院辦協助修業同學開立公假證明
 | 全程免費，採申請制辦理
 | 錄取名單將於指定日期公告

Join us !
 See Asia in a new way !

Register Now



Program Overview



商學院5樓院辦
 何小姐 04-2219-6195

商 | 學 | 院



Certificate
 Participants will receive an official Certificate of Completion in English.

College of Business, NTCUST

2025
 College of Business, NTCUST

100
 ANNIVERSARY
 NTCUST

Message from the Dean, College of Business

2017年，我與曾耀鋒副院長帶著商學院24位研究生來到日本國立滋賀大學，展開為期一週的海外移地教學；並於2019年完成第二次海外移地教學。活動在台灣師生滿滿感動中圓滿落幕，當年小倉院長、岡本所長與陳韻如副所長付出甚多，我也永遠記得來自台灣的韻如老師連夜為我們將艱深教材譯成中文這件事。
 Covid-19疫後，2025年2月滋賀大學來訪我院校長，並於9月至商學院進行為期一週「國際共學×跨域創新」研修，我們希望盡最大的努力，來回應當年滋賀大學為我們所做的一切。從2015年初訪滋賀迄今十載，我與岡本所長頭髮都白了，但因為是一起變白的，感情也更加深厚了，正如同兩校的情誼一樣。
 最後，盼此行的同學，能在這一週的國際交流與學習中滿載而歸！

In 2017, Vice Dean Yao-Feng Tseng and I led 24 graduate students from the College of Business to the National Shiga University in Japan for a one-week overseas study program, and we completed our second program in 2019. The activities concluded with deep emotions among the students and faculty from Taiwan. I will never forget the dedication of Dean Ogura, Director Okamoto, and Associate Director Chen Yun-Ju at that time, and especially how Professor Yun-Ju, from Taiwan, stayed up through the night translating our difficult materials into Chinese.

In the post-COVID-19 era, in February 2025, Shiga University visited President Chen of our university, and in September they will come to the College of Business for a one-week "International Collaborative Learning × Cross-domain Innovation" program. We hope to do our utmost to reciprocate all that Shiga University did for us back then. Since my first visit to Shiga in 2015, a decade has passed. Both Director Okamoto and I now have gray hair—but because our hair turned gray together, our friendship has only grown deeper, just like the enduring bond between our two institutions.

Finally, I hope that every student on this journey will return with rich harvests from this week of international exchange and learning!

2017年，私は曾耀鋒副院長と共に商学部の24名の大学院生を率いて、日本の国立滋賀大学で1週間の海外研修プログラムを実施しました。そして2019年には2回目の海外研修も無事に終了しました。台湾からの大学院生と教員にとって、その活動は感動に包まれた幕引きとなりました。当時の小倉学部長、岡本所長、陳韻如副所長には多大なご尽力をいただき、特に台湾から同行した韻如先生が夜を徹して難解な教材を中国語に翻訳してくださったことを、私は今でも忘れることができません。

Covid-19収束後の2025年2月、滋賀大学は本学の陳学長を表敬訪問し、同年9月には商学部にて1週間の「国際共学×クロスドメイン・イノベーション」研修を行います。私たちは、かつて滋賀大学が私たちにくださったことに、最大限の努力で応えたいと願っています。2015年に初めて滋賀を訪れてから十年が経ちました。岡本所長と私は共に白髪になりましたが、一緒に白くなったからこそ、その友情はさらに深まりました。それはまさに、両大学の絆と同じです。

最後に、今回参加する大学院生の皆さんが、この1週間の国際交流と学びを通じて大きな成果を得られることを心から願っています。

Kuo-Wei, Lee
 Dean, College of Business
 2025/09/22



President Chen, Dean Lee and Director Okamoto – NTCUST, Feb. 2025



Shiga University Overseas Study Program 2017



Shiga University Overseas Study Program 2019

100
 ANNIVERSARY
 NTCUST

09/22



學程內容 | Program Content | プログラム内容
 9/22 Mon.

始業式 | Opening Ceremony | しぎょうしき (08:10-08:40; Room : 7203)

專業課程 | Core Modules | 専門授業

Unit 1-2 (08:50-10:20; 10:30-12:00; Room : 7805)

黃怡芬教授《全球競爭策略：HBR個案—亞洲光學》

Dr. Yi-Fen Huang – Global Competitive Strategy:

HBR Case Study (Asia Optical)

黃怡芬教授「グローバル競争戦略：HBRケース（アジアオプティカル）」

Unit 3 (13:30-15:00; Room : 7203)

許義忠教授《人生投資報酬率：房子、孩子，還是自己？》

Dr. I-Chung Hsu – ROI of Life: Should You Invest in a House, a Baby, or Just Yourself?

許義忠教授「人生のROI：住宅、子育て、それとも自分自身？」

Unit 4 (15:20-16:50; Room : 7203)

許世芸教授《文化與消費者行為》

Dr. Shih-Yun Hsu – Culture and Consumer Behavior

許世芸教授「文化と消費者行動」

概況 | Overview

研修課程兩校共計28位學生，通括台、日、烏、中、菲、越、印、緬等國學生，全程英語教學。

The training program includes a total of 28 students from both universities, representing Taiwan, Japan, Ukraine, China, the Philippines, Vietnam, Indonesia, and Myanmar, with all instruction conducted in English.



7605 SDGs Lab
 College of Business



7601 BI Lab
 College of Business



100 ANNIVERSARY NTCUST

09/23



國立台中科技大學
National Taichung University of Science and Technology

The Journey Continues

學程內容 | Program Content | プログラム内容

專業課程 | Core Modules | 專門授業

9/23 Tue.

Unit 5 (08:40-10:10; Room : 7602)

陳美嬪教授《大數據分析與人工智慧》

Dr. Mei-Ping Chen - Big Data Analysis and AI

陳美嬪教授「ビッグデータ分析とAI」

Unit 6 (10:30-12:00; Room : 7601)

陳俊智教授《ChatGPT數據驅動策略》

Dr. Chun-Chih Chen - Data-Driven Strategy with ChatGPT

陳俊智教授「ChatGPTを活用したデータ駆動型戦略」

Unit 7 (13:30-15:00; Room : 7203)

陳玉蒼教授《跨境展覽創新趨勢》

Dr. Yu-Tsang Chen - Beyond Borders: Trends in International Trade Shows

陳玉蒼教授「国際展示会における新たな潮流」

Unit 8 (15:20-16:50; Room : 7203)

曾耀鋒教授《二個市場，一個制度？日治時期的台灣保險市場》

Dr. Yao-Feng Tseng - "Two Markets, One System?" Taiwan's Insurance Market under Japanese Rule

曾耀鋒教授「二つの市場、一つの制度？日本統治時代の知られざる台湾保険マーケットの物語」



7602 Fintech Lab
College of Business



100 ANNIVERSARY NTCUST

09/24-25



國立台中科技大學
National Taichung University of Science and Technology

The Journey Continues

MOTEX®
Modern Tech • Human Care

企業參訪 | Company Visits | 企業訪問

9/24 Wed.

08:10 出發/出發/Departure

09:30-11:30

華新醫材 Motex Healthcare Corp.

鄭永柱董事長「後Covid-19 台灣口罩王國 - Motex 的下一步」分組討論與回饋

President Cheng Yung-Chu - Post-COVID-19: The Next Step for Taiwan's Mask Kingdom - Motex

鄭永柱董事長「COVID-19後的台灣口罩王國 - Motexの次の一步」

14:30-16:30

亞洲光學 Asia Optical

ASIA OPTICAL

林泰朗總經理簡報與HBR案例回覆

Corporate President Tai-Lang Lin - Case response and strategic insights

林泰朗總經理 - HBRケース討論への回答と講演

9/25 Thu.

09:00 出發/出發/Departure

09:30-12:00

成真咖啡 ComeTrue Coffee (B型企業)

王國雄董事長，范佑郡執行長 - B型企業理念與問答交流

Chairman Kuo-Hsiung Wang, CEO Alex Fan - B Corporation philosophy and Q&A

王國雄董事長，范佑郡CEO - B型企業理念とQ&A

14:00-15:30

中科管理局 Central Taiwan Science Park Bureau

了解台灣高科技產業聚落與跨國合作

Understanding Taiwan's high-tech clusters and collaboration potential

台湾のハイテク産業クラスターと国際協力の可能性を学ぶ

come TRUE
COFFEE



100 ANNIVERSARY NTCUST

09/26



National Taichung University of Science and Technology

The Journey Concludes

9/26 Fri.

09:00-10:00; Room : 7203



學習心得分享與結業式

Reflection presentation & Closing ceremony

修了式・學習成果發表

10:00-11:00; Room : 7203

Farewell Meeting 歡送會 送別會

11:10-16:25

Field Survey 田野調查 フィールド調査

注意事項 | Important Notes | 注意事項

服裝 | Dress Code | 服装

Day 1-4 : 請著正式服裝。

Men: shirt, trousers, leather shoes;

Women: suit set or shirt with trousers and leather shoes.

男性：ワイシャツ・長ズボン・革靴／女性：スーツまたはシャツとパンツ・革靴。

分組 | Grouping | グループ分け

Day 1 Unit 1 時進行分組，每組5-6人，需混合台籍與外籍學生。

Groups of 5-6, mixed with local and international students.

各グループは5~6名で、台湾籍と外国籍学生を混合。

修業評分 | Final Evaluation | 修了評價

Day 5 Closing: 各組上台報告學習心得 (8-10分鐘)，至少兩位組員上台，

且必須由本國籍與外國籍同學共同報告。

Final Day: Group presentations (8-10 minutes), with at least 2 speakers

(one local, one international).

最終日：各グループ8~10分の発表、台湾籍と外国籍の学生がペアで登壇。

Courtesy Visit to the President
of Shiga University,
December 2024



商學院本部- 中高大樓



QR code lunch order - Sept. 25
(Japanese faculty & students)



2025/9

台日國際人才培育計畫-

最可貴的，是學習的企圖心

4	吳佳穎	WU, CHIA-YING	商學院 四技生/ 日間	財政稅 務系 大 四(下學 期將就 讀租稅 管理與 理財規 劃碩士 班)	TOEIC 705	非常期待本次的研修活動，包含熱門議題大數據分析及 AI 和 ChatGPT 課程，我們應如何理解並掌握它的使用再加上我們自身的專業判斷，而非被科技取代。人生投資報酬率這堂課非常吸引我，世界上最公平的事即每個人一天都只有 24 小時，如何在 22 歲這個正準備邁向職場的年紀學習新的知識掌握趨勢，不斷投資自己，學習並非只是想獲得文憑而是自我成長與自我肯定。我認為參與這場研修活動一定能帶給我極大的幫助，在企業參訪課程中我也更能了解現在產業需要的是甚麼，以及如何加強自己實力！
---	-----	---------------	-------------------	--	--------------	--

6	許詠貽	HSU YUNG-YI	商學院 四技生/ 日間	財政稅 務系大 三 (目前 是大 二，9 月 底為大 三)	B1~B2 之間 (TOEIC 700 score)。	希望透過這次的活動拓展國際視野、增加與國際交流的機會，也想瞭解時下最新的商業趨勢，並且增進自己的英文實力。希望經過這次的活動，想法能有所改變，自己能有所成長。課程內容我也相當有興趣。	或許我的英文能力不是參加此活動的學生中最好的，但因為課程內容相當吸引我，我還是想嘗試著參加，如果有錄取的話，我會很努力的。
---	-----	-------------	-------------------	--	---	---	---



2025
College of Business, NTCUST

100
ANNIVERSARY
NTCUST

09/23 09/26

Message from the Dean, College of Business

2017年，私は曾輝輝副院長と共に留学部の24名の大学院生を率いて、日本の国立滋賀大学で1週間の海外研修プログラムを実施しました。そして2019年には2回目の海外研修も無事に終了しました。台湾からの大学院生と教員にとって、その活動は感動に包まれた幕引きとなりました。当時の小倉学部長、岡本所長、陳顯如副所長には多大なご尽力をいただき、特に台湾から到着した参加生が彼を譲って難解な教材を中国語に翻訳して下さったことを、私は今でも忘れることができません。

Covid-19収束後の2025年2月、滋賀大学は本学の陳学長を表彰訪問し、同年9月には留学部にて1週間の「国際共生×クロスドメイン、イノベーション」研修を行います。私たちは、かつて滋賀大学が私たちにしてくださったことに、最大限の努力で応えたいと願っています。2015年に初めて遊覧を訪れてから十年が経ちました。岡本所長と私は共に白髪になりましたが、一緒に白くなったからこそ、その友情はさらに深まりました。それはまさに、両大学の絆と同じです。

最後に、今回参加する大学院生の皆さんが、この1週間の国際交流と学びを通じて大きな成果を得られることを心から願っています。

Kuo-Wei, Lee
Dean, College of Business
2025/09/22

Shiga University
Overseas Study
Program 2019

President Chen, Dean Lee and Director Okamoto – NTCUST, Feb. 2025

2002 FinTech Lab
College of Business

高等教育部-中國大陸

NTCUST 100th ANNIVERSARY
遠大密微 百年薪傳

QR code lunch order – Sept. 25
(Japanese faculty & students)

kers

National Taichung University of Science and Technology
No. 129, Sec. 3, Sanmin Rd., North Dist., Taichung City 40401, Taiwan, R.O.C.

Technology
, Taiwan, R.O.C.

chnology
401, Taiwan, R.O.C.

全球競爭策略：HBR 案例分析 - 亞洲光學
Global Competitive Strategy – HBR Case Study: Asia Optical



全球競爭策略：HBR 案例分析 - 亞洲光學
Global Competitive Strategy – HBR Case Study: Asia Optical



全球競爭策略：HBR 案例分析 - 亞洲光學
Global Competitive Strategy – HBR Case Study: Asia Optical





人生投資報酬率：買房、生子，還是投資自己？
ROI of Life: Should You Invest in a House, a Baby, or Just Yourself?



商學院師長使出渾身解數看家本領！



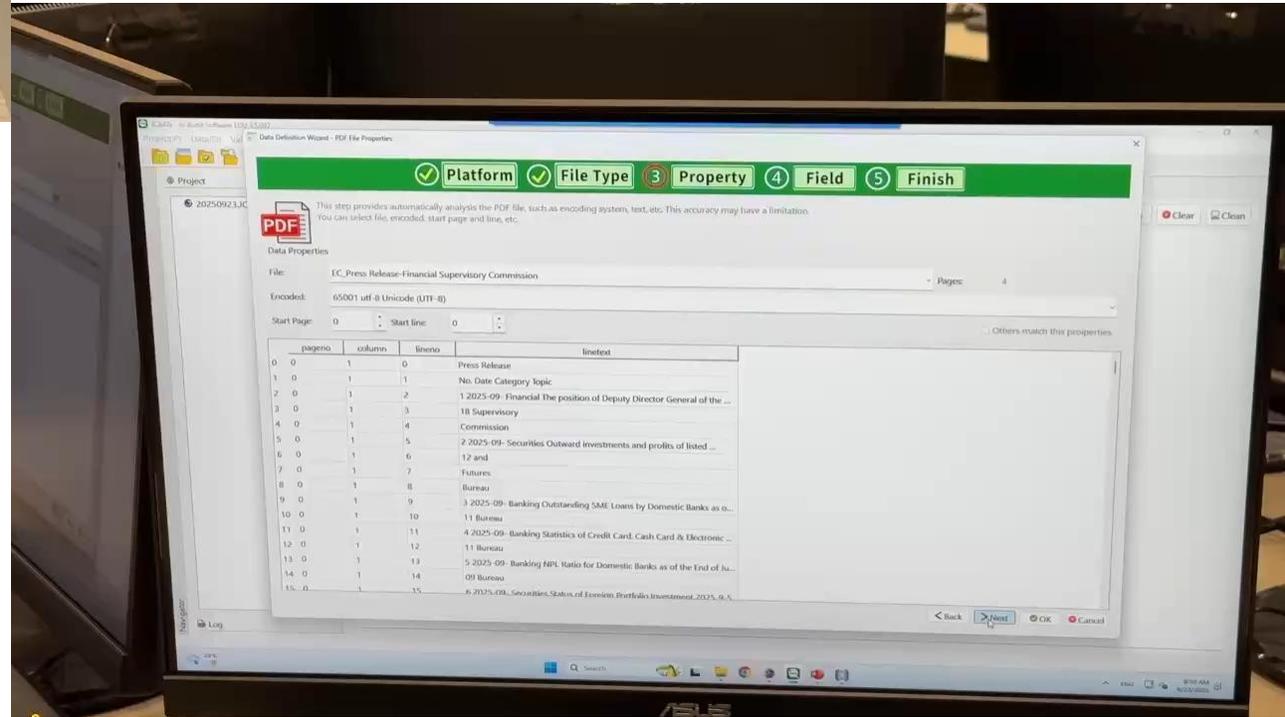
文化與消費者行為
Culture and Consumer Behavior



大數據分析與人工智慧
Big Data Analysis and AI



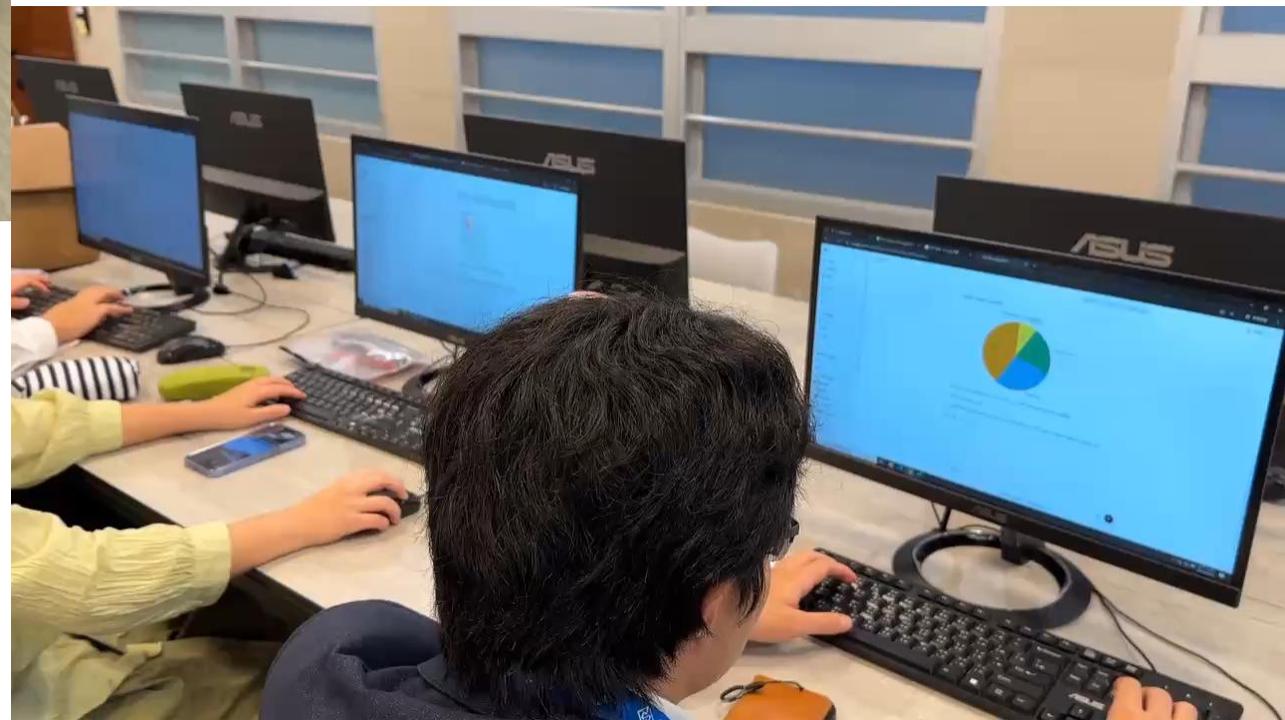
大數據分析與人工智慧 Big Data Analysis and AI



商學院師長使出渾身解數看家本領！

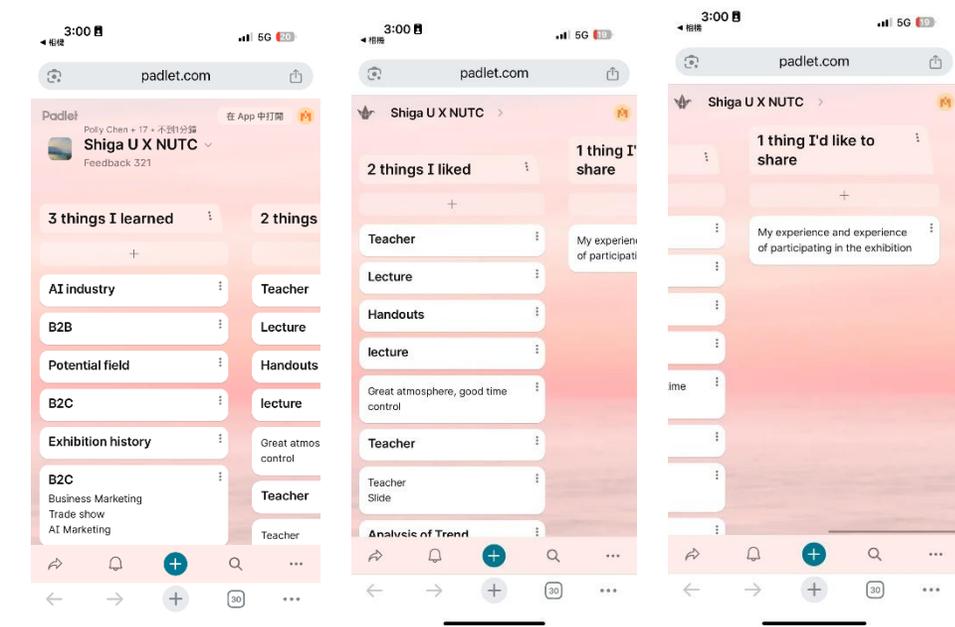


智慧商戰：用 ChatGPT 玩出數據洞察力
Data-Driven Strategy: Mastering Business Insights with ChatGPT



商學院師長使出渾身解數看家本領！

超越國界：國際商展的創新趨勢與策略應用 Beyond Borders: Emerging Trends and Strategic Innovations in International Trade Shows



商學院師長使出渾身解數看家本領！

二つの市場、一つの制度？日本統治時代の知られざる台湾保険マーケットの物語

Two Markets, One System? The Untold Story of Taiwan's Insurance Market under Japanese Rule





2025
College of Business
National Taichung University
of Science and Technology
Graduate School of Economics
Shiga University
GLOBAL COLLABORATION

International Collaboration Learning Program
Innovative Program

A large group of people, including students and faculty, posing for a group photo in a conference room. They are gathered around a long wooden table with microphones and water bottles. A banner in the background reads "2025 College of Business National Taichung University of Science and Technology Graduate School of Economics Shiga University" and "International Collaboration Learning Program". The room has wood-paneled walls and a drop ceiling with recessed lighting.

校友企業參訪



此課程涵蓋AI商業應用、大數據分析、全球競爭策略、HBR個案研修、跨國管理比較等核心議題，由台中科技大學商學院教授組成師資群，協助學生掌握全球最新管理脈動與實務。除課堂學習外，活動安排三場校友企業參訪，由華新醫材董事長鄭永柱（校友總會會長）、成真咖啡董事長王國雄（校友總會副會長）及亞洲光學總經理林泰朗（傑出校友）規劃接待，透過簡報、座談與現場參訪，使學生直接觀察企業如何在永續、創新與全球經營中落實策略。最後亦參訪中科管理局，了解台灣高科技產業的發展歷程與現況。



參訪台中科大校友企業-華新醫材集團。圖/業者提供



參訪台中科大校友企業-華新醫材集團。圖/業者提供



台中科大副校長鄭經偉在始業式致詞時表示，樂見學校走出台灣承接大型國際人才培育計畫，期許此為商管人才國際化的重要契機。鄭永柱則指出，很高興能支持母校人才培育，並與國際學生分享華新疫後「雙軌」與「雙軸」策略，對同學專業且熱情的討論印象深刻。滋賀大學經濟學研究所所長岡本哲彌也表示，此次合作有助於兩校學生拓展國際視野，並盼建立跨國人才培育的典範。



參訪台中科大校友企業-亞洲光學。圖/業者提供



台中科大商學院院長李國璋強調，此次研修是兩校10年交流的成果，自2015年首度造訪滋賀大學以來，雙方持續互訪，並於疫情後延續合作。今年9月再度啟動跨國研修，展現雙方長久而深厚的情誼。李國璋最後特別感謝校友總會及校友企業的大力支持，強調「校友永遠是商學院舉步向前的最大後盾」。



參訪台中科大校友企業-成真咖啡。圖/業者提供

2025 “International Collaborative Learning × Cross-Domain Innovation” Training Program – Individual Report

Organizers

College of Business, NTCUST | Graduate School of Economics, Shiga University, Japan

👉 Please submit this form **before 12:00 midnight on September 25**.

Your English Name

Yu-Tien, Chang

Q1: Feedback on Courses

The program included 7 course units:

1. Global Competitive Strategy – HBR Case Study: Asia Optical
2. ROI of Life: House, Baby, or Self?
3. Culture and Consumer Behavior
4. Big Data Analysis and AI
5. Data-Driven Strategy with ChatGPT
6. Trends and Strategies in International Trade Shows
7. Taiwan's Insurance Market under Japanese Rule (Japanese instruction)

👉 Please share your group's overall reflections and learning from these courses.

📌 **Note:** You do not need to answer unit by unit. You may refer to some selected units, or simply share your overall learning experience.

Overall, we felt the courses gave us a balanced view of strategy, culture, and technology. From the Asia Optical case, we learned how companies manage global competition, while the ROI of Life reminded us that strategic thinking also applies to personal choices. We saw how culture shapes consumer behavior, and how AI and big data can support smarter decisions. Looking at trade shows and even history, like Taiwan's insurance market under Japanese rule, showed us the importance of global and long-term perspectives. In short, the courses taught us to connect human insight with data and strategy for better decision-making.

Q3: Overall Suggestions

👉 Please provide your group's suggestions for improving the program, including course design, company visits, or cross-cultural learning.

(Open-ended question)

The program is very amazing, and every class is interesting and rewarding. I also made new friends and grew a lot, because I'm not an outgoing person, but through this opportunity I was able to interact with more people, which made me really happy.

Q3: Overall Suggestions

👉 Please provide your group's suggestions for improving the program, including course design, company visits, or cross-cultural learning.

(Open-ended question)

Overall, the program was very well organized, and we enjoyed both the courses and company visits. If possible, it would be great to have more time and opportunities to explore and learn in detail about the Central Taiwan Science Park, since it represents such an important part of Taiwan's innovation ecosystem.

Q3: Overall Suggestions

👉 Please provide your group's suggestions for improving the program, including course design, company visits, or cross-cultural learning.

(Open-ended question)

We truly feel that this program was both wonderful and meaningful. It not only deepened our knowledge but also gave us the chance to experience cultural exchange. Most importantly, it helped strengthen the bonds between Japan and Taiwan. Through the classes and group work, we learned many things—not only academic knowledge, but also culture, teamwork, and new perspectives.

Q1: Feedback on Courses

The program included 7 course units:

1. Global Competitive Strategy – HBR Case Study: Asia Optical
2. ROI of Life: House, Baby, or Self?
3. Culture and Consumer Behavior
4. Big Data Analysis and AI
5. Data-Driven Strategy with ChatGPT
6. Trends and Strategies in International Trade Shows
7. Taiwan's Insurance Market under Japanese Rule (Japanese instruction)

👉 Please share your group's overall reflections and learning from these courses.

📌 **Note:** You do not need to answer unit by unit. You may refer to some selected units, or simply share your overall learning experience.

I found program 1 is highly engaging, with the instructor's explanations complemented by group discussions. It proved an excellent way to get to know and familiarise with team members on the first day, swiftly energising the group dynamic.

I found the hands-on data courses in program 4 and 5 are equally engaging. Within just an hour and a half, we gained valuable insights into a new data analysis software – highly rewarding!

Q2: Feedback on Company Visits

The program included four company visits:

1. Motex Healthcare
2. Asia Optical
3. ComeTrue Coffee
4. Central Taiwan Science Park

👉 Please share your group's overall reflections and insights from these company visits.

📌 **Note:** You do not need to answer unit by unit or company by company. You may refer to some selected units/companies, or simply share your overall experience.

(Open-ended question)

Our overall experience from the company visits was highly enriching, as each stop provided a different perspective on how Taiwanese businesses and institutions adapt to global challenges while remaining innovative and resilient.

Q2: Feedback on Company Visits

The program included four company visits:

1. Motex Healthcare
2. Asia Optical
3. ComeTrue Coffee
- 4 .Central Taiwan Science Park

👉 Please share your group's overall reflections and insights from these company visits.

📌 **Note:** You do not need to answer unit by unit or company by company. You may refer to some selected units/companies, or simply share your overall experience.

(Open-ended question)

The four company visits were very different, yet all of them taught me valuable lessons about business, innovation, and culture. From healthcare to optics, from coffee to high-tech industries, I realized that success comes in many forms but always requires vision, dedication, and adaptability. As a student, these experiences helped me connect classroom theories with real-world practice, motivating me to prepare myself to contribute meaningfully in whatever career path I choose.

Q3: Overall Suggestions

👉 Please provide your group's suggestions for improving the program, including course design, company visits, or cross-cultural learning.

(Open-ended question)

Overall, I am very satisfied with the program and the way it was organized. The activities and company visits were meaningful, and I truly enjoyed the cross-cultural learning opportunities. One small suggestion is that in the future, the groups could be changed at some point so that we can interact with even more students from different backgrounds. This would make the cultural exchange experience even richer, but in general, I am very happy with how the program was carried out.

這張照片背後的意涵，似乎比國際交流的KPI更重要！

Group 1	Group 2	Group 3	Group 4	Group 5
安巴迪娜 Anne Anne	莊陳芳蓉	武成倫	韓亞倫 韓亞倫	Fitriyana Sagala
翁婉琦 翁婉琦	吳佳穎 吳佳穎	蕭苡勻 蕭苡勻	許詠貼 許詠貼	蘇勤芸
張育綸 張育綸 Aaron Tatsuya	葉宸諺 葉宸諺	陳亮瑜 陳亮瑜	張語恬 張語恬 Angel	吳奕穎 吳奕穎
吳曉明 吳曉明 Mina	蔣文章 蔣文章	文思敏 文思敏	洪瑞伯 洪瑞伯 股市	朱浪 朱浪
前田 前田 前田	李薇 李薇 Vivi	範海瑄 範海瑄 Seokhyung	廖欽丹 廖欽丹	章琴
Marharyta Berezina	前田 謙之	河崎 慶文 河崎慶文	廖欽丹 廖欽丹 廖欽丹	金柳尚

台中科技大學國際夥伴 啟動跨國人才培育計畫

商學院今年9月迎來8國人才國際共學

2025.10.08 / 18:54 / 工商時報 文 / 黃俊榮

#華新醫材

#台中科大

#亞洲光學

#滋賀大學



台中科大商學院9月迎來8國人才國際共學。圖/業者提供



日本國立滋賀大學經濟學研究所在今年9月22日至26日率領14位日本研究生來訪國立台中科技大學商學院，與該校14位學生（含iOMBA國際專班）共同參與為期一週的全英語國際研修課程。共28位學生來自

2024視訊會議時，回首九年彷彿昨日-

2015
11/11



十年後我與岡本老師的頭髮都變白了；
但因為是一起變老的，情誼也更加深厚了！

2024
11/20





國立臺灣大學
感謝狀
國立臺灣大學
陳韻如

陳韻如
Chen, Yun-Ru





牛担仔麵

創立於1986年

華美街 台中担仔麵
大35 日本盪興大學
台中科技大學商學院-1樓
K1-1 臺灣高球牌-2樓
K7 嶺南-2樓
K8 廖錦7-2樓
大6 百生-1樓
金蛇迎春-萬事如意

日本文部科學省亦於10/14日進行計畫執行
成果訪視 (我方由商學院副院長線上列席)



実施状況報告書における質問事項（令和7年度実施フォローアップ）回答

代表校名	滋賀大学	整理番号	R06_02
プログラム名称	データ×アーツ×国際連携による新たな総合知に基づく ビジネス・インサイト養成プログラム		

質問事項	回答
①英語による講義科目群において、令和6年度に計画の見直しを行っているが、カリキュラム上、専任准教授1名よりも特任教員（ネイティブ）複数名体制の方が事業計画を遂行する上で有効であると判断された理由を伺いたい。	<p>「ビジネス・インサイト養成プログラム」における英語による講義科目群として、「Business Communication I・II」「Academic Writing I・II」「Special Lecture on Business Insight」の5科目を新設した。</p> <p>経済学研究科には、経済学専攻、経営学専攻、経営分析学専攻の3専攻があるが、「ビジネス・インサイト養成プログラム」はこれら3専攻すべてにまたがる共通のプログラムである。そのため、いずれの専攻の院生も英語による授業を受講できるようにするには、単に5科目を開講するだけでなく、同一科目を複数回開講する必要があると判断した。また、英語教育の観点からも、1人の教員による複数授業の提供よりも、複数の英語教員による多様な授業を受講できる方が望ましいと考えた。</p> <p>以上を踏まえ、予算面も考慮した結果、特任教員3名体制が実現可能かつ適切な編成であると判断した。</p>
②本プログラムにおける英語による講義科目群は、英語力向上を目的とした語学教育に留まらず、プログラムの中核を成す「ビジネス・インサイト」の育成に資する教育内容を提供するものであるという理解でよいか。また、台湾と米国で予定している海外研修の概要を示していただきたい。	<p>ご理解のとおり、本プログラムにおける英語による講義科目群は、大学院レベルの英語力向上に加え、「ビジネス・インサイト」の育成を目的とした内容で構成されている。特に、「Business Communication I・II」「Academic Writing I・II」「Special Lecture on Business Insight」は、その趣旨に沿って新たに設置した科目である。</p> <p>「海外研修Ⅰ（台湾）」は、連携校の台中科技大学商学院で実施する短期海外研修プログラムである。英語による専門分野の講義を通じて、グローバ</p>

	<p>ルビジネスの課題に対する理解を深め、台湾を代表するグローバル企業の訪問により、東アジア企業の競争優位や企業文化に対する実践的な洞察を得ることを目的としている。また、台湾グローバル企業のケースを用いた討論形式の授業や、台中科技大学商学院学生とのグループ学習・国際交流活動の実施も学生の英語力や多角的視野の養成に寄与する。</p> <p>「海外研修Ⅱ（米国）」は、グローバル人材育成の一環として実施する、2週間の海外短期研修プログラムである。GoogleやAppleなどのグローバル企業が生まれたシリコンバレーの風土を感じながら、海外研修プログラムを体験するとともに、参加型の講義や企業訪問を通して、学生のグローバル意識を育み、イノベーションと起業家精神を身につけることを目的とする。また、学びを通して、ビジネス英語を身につける。</p>
③学位研究のテーマ設定や指導体制などへの連携校・連携機関とのネットワークの活用について、ご意見や検討状況などあれば伺いたい。	<p>令和7年度は「ビジネス・インサイト養成プログラム」の初年度であるため、まずは台湾の国立台中科技大学商学院（ビジネススクール）における「海外研修Ⅰ（台湾）」と、米国サンノゼ州立大学シリコンバレーセンターにおける「海外研修Ⅱ（米国）」の開講に向けて、現在、両校との最終調整を進めている。</p> <p>国立台中科技大学商学院とは、令和7年2月に実施した試行研修などを通じて交流を深めており、同校が令和6年に新設した国際英語コース（iOMBA: International Master of Business Administration in Intelligent Operations Program）を基盤として、滋賀大学経済学部とのダブルディグリープログラムの可能性について、今年度より検討を開始する予定である。こうした国際連携による研修・実務体験は、院生の問題意識の形成や学位研究の深化に資するものであり、学位研究のテーマ設定においても課題発見を促す契機となると考えている。今後、指導体制を含め学位研究とどのように接続させていくかは、中長期的な検討課題である。</p>

中科大商學院的國際共學活動，也出現在日本文部科學省的計畫成果報告裏！

用感動- 趨動國際交流與合作



滋賀大学



商學院李國璋與曾輝鋒老師赴日與日本國立滋賀大學三ツ石郁夫副校長與經濟學部小倉明浩院長研議海外移地教學。經濟學部小倉明浩院長來訪並與商學院戴錦周院長簽訂「承認學分制」海外移地教學合作備忘錄。

2015-2016 | 規劃

舉辦第一屆國立台中科技大學商學院碩士班「承認學分制」海外移地教學，共24名研究生至日本國立滋賀大學修習一連串密集課程。

2017 | 第一屆 | 台灣 > 日本

舉辦第二屆海外移地教學，由教師帶領企管、保金、會資、財稅等27名研究生，修課研究生可抵免本校畢業學分，並於成績單正式加註海外研修課程。

2019 | 第二屆 | 台灣 > 日本

舉辦第一屆日本來台移地教學，由商學院規劃開設7門全英與1門全日課程，並結合三間校友企業參訪與中科管理局，主題涵蓋AI大數據、文化行銷、跨域創新等主題；該學程共28位國際生涵蓋台、日、烏、菲、中、越、印、緬八地學生，並於課程結束授予修業證書。

2025 | 第一屆 | 日本 > 台灣

商學院台日海外移地教學 Overseas Program

2015- Present